

<別紙2：検査値等略称>

略称	名称
ALD	アルドリンエポキシダーゼ
ALP	アルカリフォスファターゼ
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ (=グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ (GPT))
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (=グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ (GOT))
AUC	薬物濃度曲線下面積
CD2 ^{total}	T細胞表面マーカー
CD4 ^{total}	ヘルパーT細胞表面マーカー
CD5 ^{total}	T細胞表面マーカー
C _{max}	最高濃度
Cre	クレアチニン
ECOD	チトクロム P450 依存性モノオキシゲナーゼ (7-エトキシクマリンデエチラーゼ)
EH	エポキシヒドラーゼ
GGT	γ-グルタミルトランスフェラーゼ (=γ-グルタミルトランスぺプチダーゼ (γ-GTP))
GST	グルタチオン-S-トランスフェラーゼ
IgA	免疫グロブリン A
IgG	免疫グロブリン G
Lym	リンパ球数
N-Demeth	アミノピリン N-デメチラーゼ
Neu	好中球数
O-Demeth	(p-ニトロアニソール) O-デメチラーゼ
P450	チトクローム P450
TAR	総処理 (投与) 放射能
TBC	チロキシン-結合能
T.Bil	総ビリルビン
T.Chol	総コレステロール
TG	トリグリセリド
T _{max}	最高濃度到達時間
TP	トロンボプラスチン時間
TRR	総残留放射能
TSH	甲状腺刺激ホルモン
T _{1/2}	半減期
T3	トリヨードサイロニン

T4	サイロキシン
UDPGT	ビリルビン抱合酵素 (ウリジン二リン酸グルクロニルトランスフェラーゼ)
WBC	白血球数

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名 実施年	試験 圃場数	使用薬剤: 使用量	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)						
					スピロメシフェン		代謝物 M1		代謝物 M2+M9		スピロメシフェン 及び 代謝物 (M1,M2 ,M9) の合計
					最高値	平均値	最高値	平均値	最高値	平均値	
トマト (施設) 果実 2003年	4	SC: 150-375 g ai/ha	2	1	0.30	0.153	0.01	0.01*	0.02	0.02*	0.18
			2	3	0.36	0.152	0.01	0.01*	0.04	0.02*	0.18
			2	7	0.29	0.142	0.01	0.01*	0.05	0.03*	0.18
りんご (露地) 果実 2004年	2	SC: 750-900 g ai/ha	1	1	0.88	0.545	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.58
			1	3	0.72	0.456	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.50
			1	7	0.70	0.359	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.40
			1	14	0.33	0.15*	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.20
なし (露地) 果実 2004年	2	SC: 750 g ai/ha	1	1	0.55	0.391	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.43
			1	3	0.37	0.298	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.34
			1	7	0.41	0.298	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.34
			1	14	0.22	0.164	<0.02	<0.02	0.04	0.02*	0.20
おうとう (施設) 果実 2004年	2	SC: 750 g ai/ha	1	1	2.72	2.26	0.03	0.022*	<0.02	<0.02	2.30
			1	3	2.58	1.56	0.07	0.042	<0.02	<0.02	1.62
			1	7	2.53	1.41	0.19	0.098*	0.03	0.02*	1.53
			1	14	1.54	1.10	0.44	0.310	0.09	0.07*	1.48
茶 (露地) 荒茶 2004年	2	SC: 600 g ai/ha	1	7	14.81	8.48	8.05	5.32	5.94	4.90	18.70
			1	14	3.37	1.93	2.88	2.19	12.01	9.22	13.34
茶 (露地) 浸出液 2004年	2	SC: 600 g ai/ha	1	7	0.13	0.09*	7.38	5.10	4.28	4.03	9.22
			1	14	<0.05	<0.05	2.19	1.92	8.08	7.83	9.80

注) ai : 有効成分量、PHI : 最終使用から収穫までの日数、SC : フロアブル

- ・一部に検出限界未満を含むデータの平均を計算する場合は検出限界値を検出したものとして計算し、*印を付した。
- ・全てのデータが検出限界未満の場合は検出限界値の平均に<を付して記載した。
- ・代謝物 A,B+I の残留値はスピロメシフェンに換算して記載した。換算係数は、
スピロメシフェン/代謝物 M1=1.36
スピロメシフェン/代謝物 M2+M9=1.28

<参照>

- 1 農薬抄録スピロメシフェン：バイエルクロップサイエンス株式会社、2005年、一部公表予定 (URL : <http://www.fsc.go.jp/hyouka/iken.html#02>)
- 2 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェン：ラットにおける代謝 (GLP 対応)：ハンティンドンライフサイエンス社 (英)、2000年、未公表
- 3 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェン：雌雄ラットにおける定量的全身オートグラフィ (QWBA) (GLP 対応)：バイエルクロップサイエンス社 代謝/環境動態研 (独)、2003年、未公表
- 4 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェン：ラットの血漿、尿、腎臓及び肝臓における残留及び代謝物の消長 (GLP 対応)：バイエルクロップサイエンス社 代謝/環境動態研 (独)、2003年、未公表
- 5 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンのトマトにおける代謝 (GLP 対応)：ハンティンドンライフサイエンス社 (英)、2001年、未公表
- 6 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンのりんごにおける代謝 (GLP 対応)：バイエルクロップサイエンス社 代謝/環境動態研 (独)、2004年、未公表
- 7 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンのレタスにおける代謝 (GLP 対応)：ハンティンドンライフサイエンス社 (英)、2001年、未公表
- 8 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンの棉における代謝 (GLP 対応)：ハンティンドンライフサイエンス社 (英)、2001年、未公表
- 9 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンの好気土壌中の分解・代謝 (GLP 対応)：バイエル社 代謝・残留研 (独)、2001年、未公表
- 10 [フェニル-UL-¹⁴C]スピロメシフェンの好気土壌中の分解・代謝 (GLP 対応)：バイエル社 代謝・残留研 (独)、2001年、未公表
- 11 [シクロペンチル-1-¹⁴C]スピロメシフェンの好気土壌中の分解・代謝 (GLP 対応)：バイエルコーポレーション環境研究部 (米)、2001年、未公表
- 12 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンの土壌表面光分解 (GLP 対応)：バイエルコーポレーション環境研究部 (米)、2001年、未公表
- 13 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンの土壌吸着試験 (GLP 対応)：バイエルコーポレーション環境研究部 (米)、2004年、未公表
- 14 スピロメシフェン代謝物エノール体の土壌吸着試験 (GLP 対応)：バイエルクロップサイエンス社環境安全研究部、2004年、未公表
- 15 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンの滅菌緩衝液中における加水分解 (GLP 対応)：バイエルコーポレーション環境研究部 (米)、2001年、未公表
- 16 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンの水中光分解 (自然水) (GLP 対応)：バイエルクロップサイエンス社 代謝環境動態研 (独)、2004年、未公表
- 17 [フェニル-UL-¹⁴C]スピロメシフェン及び [シクロペンチル-1-¹⁴C] スピロメシフェンの水中光分解 (自然水) (GLP 対応)：バイエルクロップサイエンス社 代謝環境動態研 (独)、2004年、未公表
- 18 [ジヒドロフラノン-3-¹⁴C]スピロメシフェンの水中光分解 (緩衝液) (GLP 対応)：バイエルコーポレーション環境研究部 (米)、2001年、未公表

- 19 土壌残留試験成績：バイエルクロップサイエンス、2003年、未公表
- 20 スピロメシフェン 作物残留試験成績：日本植物防疫協会研究所、2003-2004年、未公表
- 21 スピロメシフェン 作物残留試験成績：バイエルクロップサイエンス、2003-2004年、未公表
- 22 スピロメシフェンの薬理試験：（財）食品農医薬品安全性評価センター、2003年、未公表
- 23 スピロメシフェンのラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、1997年、未公表
- 24 スピロメシフェンのラットを用いた急性経皮毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、1999年、未公表
- 25 スピロメシフェンのラットを用いた急性吸入毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、1999年、未公表
- 26 動植物土壌代謝物：エノール体[M1]のラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2003年、未公表
- 27 原体混在物：メシチル酢酸エステル体のラットを用いた急性経口毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2003年、未公表
- 28 スピロメシフェンのラットを用いた急性経口神経毒性（GLP 対応）：バイエルコーポレーション（米）、2001年、未公表
- 29 スピロメシフェンのウサギの皮膚に対する一次刺激性試験（GLP 対応）：LPT 社（独）、1997年、未公表
- 30 スピロメシフェンのウサギの眼に対する一次刺激性試験（GLP 対応）：LPT 社（独）、1997年、未公表
- 31 スピロメシフェンのモルモットを用いた皮膚感作性試験（Maximization 法）（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、1998年、未公表
- 32 スピロメシフェンのラットを用いた飼料混入投与による90日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2000年、未公表
- 33 スピロメシフェンのイヌにおける90日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2001年、未公表
- 34 スピロメシフェンのイヌにおける90日間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2001年、未公表
- 35 スピロメシフェンのラットにおける反復経口投与神経毒性試験（13週間混餌投与）（GLP 対応）：バイエルコーポレーション（米）、2002年、未公表
- 36 スピロメシフェンのイヌにおける1年間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2002年、未公表
- 37 スピロメシフェンのラットを用いた混餌投与による1年間反復経口投与毒性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2001年、未公表
- 38 スピロメシフェンのラットを用いた混餌投与による発がん性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2001年、未公表
- 39 スピロメシフェンのマウスを用いた発がん性試験（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、2001年、未公表
- 40 スピロメシフェンのラットの繁殖性に及ぼす影響（GLP 対応）：バイエル社 毒性研究所（独）、

- 2002年、未公表
- 41 スピロメシフェンのラットを用いた催奇形性試験 (GLP 対応) : バイエル社 毒性研究所 (独)、2001年、未公表
 - 42 スピロメシフェンのウサギを用いた催奇形性試験 (GLP 対応) : バイエル社 毒性研究所 (独)、2001年、未公表
 - 43 スピロメシフェンの細菌を用いた復帰突然変異試験 (GLP 対応) : バイエル社 毒性研究所 (独)、1997年、未公表
 - 44 スピロメシフェンのチャイニーズハムスター由来 V79 培養細胞を用いた *in vitro* 染色体異常試験 (GLP 対応) : バイエル社 毒性研究所 (独)、1997年、未公表
 - 45 スピロメシフェンのマウスにおける小核試験 (GLP 対応) : バイエル社 毒性研究所 (独)、1999年、未公表
 - 46 動植物土壌代謝物 : エノール体[M1]の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : バイエル社 毒性研究所 (独)、2003年、未公表
 - 47 原体混在物 : メシチル酢酸エステル体の細菌を用いた復帰突然変異性試験 (GLP 対応) : バイエル社 毒性研究所 (独)、2003年、未公表
 - 48 食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 109 回会合資料 1-1 (URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai109/dai109kai-siryou1-1.pdf>)
 - 49 「スピロメシフェン」の食品衛生法 (昭和 22 年法律第 233 号) 第 11 条第 1 項の規定に基づく、食品中の残留基準設定に係る食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 109 回会合資料 1-2 (URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai109/dai109kai-siryou1-2.pdf>)
 - 50 第 38 回食品安全委員会農薬専門調査会 (URL : <http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/n-dai38/index.html>)
 - 51 食品、添加物等の規格基準 (昭和 34 年厚生省告示第 370 号) の一部を改正する件 (平成 17 年 11 月 29 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 499 号)
 - 52 食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 153 回会合資料 1-1-b (URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/dai153kai-siryou1-1-b.pdf>)
 - 53 暫定基準を設定した農薬等に係る食品安全基本法第 24 条第 2 項の規定に基づく食品健康影響評価について : 食品安全委員会第 153 回会合資料 1-4 (URL : <http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai153/dai153kai-siryou1-4.pdf>)
 - 54 スピロメシフェンの食品健康影響評価に係る追加資料の提出について : バイエルクロップサイエンス、2006年、未公表
 - 55 食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第一部会第 9 回会合 (URL : http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou1_dai9/index.html)
 - 56 食品安全委員会農薬専門調査会幹事会第 14 回会合 (URL : http://www.fsc.go.jp/osirase/nouyaku_annai_kanjikai_14.html)
 - 57 国民栄養の現状－平成 10 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2000年
 - 58 国民栄養の現状－平成 11 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2001年
 - 59 国民栄養の現状－平成 12 年国民栄養調査結果－ : 健康・栄養情報研究会編、2002年